



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-7-23

足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)

日本共産党区議団 直通3880-5770

http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html

売却から活用へ 転換 区有地などの公有財産 活用構想を変更

「区民の貴重な財産は有効活用を」 日本共産党の練り返し要求がついに実りました

高い値段で次々購入 塩漬け土地が続出

現在、足立区と足立区土地開発公社が、区内のあちこちに保有している土地が90カ所も

あり、そのうちここ数年で活用が決まっている用地は27カ所(その後4ヶ所増)、残りは当面活用の見通しのない塩漬け土地になっていました。

相続などで生まれた土地を「事業目的」をつけて買い、次々と塩漬け土地を生み出した

未利用の保有地 (平成20年度公社決算)
62件 5万7238㎡
かかった費用 **263億1232万円**
※このすべての資金は協調融資銀行(みずほなどが出資)から長期借り入れて購入



区内のいたる所に未利用の保有地が

のです。

活用もせず 安価でたたき売る

その後平成15年9月の「公有財産の活用構想」が策定。これにより、「売却を基本とする」として、それ以降、「活用もせず安価でたたき売る」ことになったのです。

塩原林間学園などは、15億円かけてつくったものを、2億円で売り出し、それでも売れずに8千万円台に下げても未だに売れていない事態。東部工事事務所跡も同様です。

日本共産党は、否定されてもあきらめずくり返し「区民の貴重な財産。売却ではなく有効活用を」と強く方針転換を求めてきました。

ついに方針転換

そしてついに今年1月に「公有

財産活用の基本的な考え方を「売却優先」から「保有したままの活用を優先し、活用できないものは処分とする」方針に転換していきます。まず「公有財産の活用構想(改訂版)より」

| 主な未利用地の活用構想(案) | |
|-----------------|---------------------------------------|
| 旧千住第六小学校 | 地域の防災機能の向上や千住西地区のまちづくり等と関連させ、一体で検討 |
| 旧千住図書館 | |
| 第十六中学校 | 北千住駅東口周辺地区のまちづくりや産学公連携等と関連させて検討 |
| 旧勤労青少年寮 | 都の大規模改修・改築に合わせ利活用をはかる |
| 旧江北幼稚園 | 既存の園舎を活用するかを含め、引き続き検討 |
| 旧入谷南小学校 | 医療関連施設や教育関連施設の誘致を検討する |
| 旧竹ノ塚保健総合センター | 竹ノ塚周辺地区のまちづくり等と関連させて検討 |
| 旧東部工事事務所 | 教育関連施設の誘致などを検討 |
| 新田小学校 | 特養ホーム、障がい者施設など、福祉施設の整備を検討 |
| 新田中学校 | 医療関連施設や教育関連施設の誘致を検討する |
| 旧西部公園事務所及び伊興職員寮 | 道路整備、一部は障がい者施設、残りは売却を含め活用 |
| 足立西清掃事務所 | 都からの譲渡財産で利用制限がある。引き続き検討 |
| 梅島3-26(公社保有地) | 西新井公園の代替地として公社保有を継続。暫定利用を検討。 |
| 小台2-4(同) | 暫定運動場として地元開放しているが、土壌汚染調査を実施。本利用は別途検討。 |

※先週の伊藤ニュースでお知らせした「ハイチ大地震救済募金」の送りの口座番号が間違っていました。正しくは日本共産党中央委員会 ●郵便振替 00170-7-98422 です。

土地の活用方法について パブリックコメント(区民意見聴取)実現!

みなさんのご意見を届けてください

この新しい「活用構想」と、具体的な未利用地の活用構想について、パブリックコメントを行い、区民から広く意見を聴取することになりました。期間は1月26日から30日間です。みなさんの身近な地域の活用方針を決める機会です。ぜひ積極的に意見を届けてください。

財産の活用構想(改訂版(案))が策定されました。そこには明確に「方針転換」とかかれています。もちろん、全てが改善されたわけではなく、塩原林間跡地はそのままで、昨年来、地主の相続税対策で売り出した土地を、緊急性は低いのに買ってあげることも相変わらずです。

肝炎の方に朗報!

肝機能障害の方が 身体障害者手帳と 医療費助成を受けられますようになります

今年4月1日より、身体障害者福祉法における身体障がい(肝臓機能障がい)が追加され、身体障害者手帳の対象となります。

【内容】

1、追加される障がいと等級
肝臓機能障害(ウイルス性肝炎だけでなく、アルコール性の肝炎も対象に。内部障がいの身体障害者として、程度により1級から

- 2、申請と認定の時期
22年2月1日(申請受付開始)
22年4月1日(認定開始)
- 3、申請方法
認定医の診断書と意見書とともに申請
- 4、相談・受付窓口
所管する区内の福祉事務所

あだちワークセンターが 存続の危機に!

民主党政権の事業仕分けで予算が廃止

ハローワーク足立の出張所の存続を 国と東京都労働局に要請書を提出



あだちワークセンター前の総合相談窓口

民主党政権の設置した行政刷新会議

の事業仕分けによって、あだちワークセンター(区役所北館2階)が来年度予算の廃止によって運営ができなくなる危機にさらされています。

あだちワークセンターは平成15年度より高齢者職業相談室として発足しました。

当時はハローワーク足立の出張所として常勤1名、非常勤7名体制でオンラインにより、相談業務を行って来ました。

その後、小泉内閣の構造改革で年間就職人数が2500以下は廃止するとの方針がありました。中小企業が大半で低所得者が多い足立区の雇用情勢を鑑みて、

足立区予算案の区民学習会
2月19日(金)午後7時~

東京土建足立支部会館3階会議室
報告 **ぬかが和子**
区議団幹事長

くらし、雇用など厳しくなっている中、足立区の新年度の予算案はどうなっているか

主催・足立革新区政をつくる会 3882-3031



平成20年度の就職人数は1154人ですが、ハローワーク足立全体の実績が8455人であるので、その14%をあだちワークセンターが占めています。

今年度の来客者は一日平均190人で、20年度が146人であったので、大きく利用者がのびています。

常設のワンストップサービス設置
わが党の質問に答え4月から予定

足立区は21年2月、5月、11月にそれぞれ3日間、ハローワークとの共催で雇用と生活の総合相談を実施しています。

あだちワークセンターは区役所内にあるため、福祉や健康、税金や多重債務などの様々な区民相談に対応しています。

区はワークセンターの存在を前提に職員を増強し、常設のワンストップサービスの窓口を設置すると第4回区議会定例会の中で日本共産党の質問に答弁していました。

50才以上の方の就労支援セミナーを開催

2月16日 2時~4時 北千住マリエイ10階
入場無料/履歴書作成のコツ、面接演習、職業別の求人状況など/無料
申込・問い合わせ 区役所内就労支援課

核兵器のない世界を!あなた
の署名をニューヨークへ
新春平和の学習会
2月13日(土) 13~15時
足立教育会館3階

「NPT再検討会議の成功へ、核兵器廃絶運動の展望」
講師 東京原水協事務局長 石村和弘氏
学習会の後には署名行動や交流会も予定しています




しかし、事業仕分けでは高齢者職業相談室はハローワークとの二重行政で無駄と決め付け、来年度予算の削減を決定しました。

予算が廃止されるとハローワーク足立から派遣されていた職員も来なくなり、足立ワークセンターの運営にとって痛手になります。さらに現在でも溢れているハローワーク足立の本体業務がさらに混雑することが予想されます。

23区の中で同事業を実施しているのは江戸川区と足立区だけであり、二区は厚生労働省、東京都労働局に存続の要請書を提出しています。

今後、日本共産党の江戸川、足立区議団は協力して、国と都にあだちワークセンターの存続を要請します。区民の皆さんのご意見、ご要望をお寄せ下さい。